

● 令和7年度の基本方針

令和7年度は中期経営計画「Smart Shinkin Stock 2025」の最終年度にあたり、「地域密着による課題解決No.1の信用金庫」、「3つの資本(ストック)の蓄積」実現への総仕上げの年度となります。この2年間で構築・実践して蓄積した「3つの資本」である人的資本・地域資本・自己資本を活用し、お客さまへ提供する「価値」を創出し、完成度の高い課題解決を進めます。

昨年度は、人財育成サイクルを戦略的に運用し、専門スタッフの育成、マイスターの認定などを通じて課題解決力を向上させました。また、企業支援部の「サポートオフィス」を設置・拡大し、課題解決支援の迅速化に寄与しました。くわえてコミュニティプランの運営開始、生成AIやデジタルサイネージ広告の実証実験の開始、優先出資の完全消却など、中期経営計画の中間年度として初年度で「構築」した態勢を「実践」した年度となりました。

本年度はこれらの取り組みを通じて成果を「創出」する重要な年度と位置付けます。具体的には中期経営計画に掲げた最重要事項である人財育成を一層進め、コンサルティング能力とITリテラシーの向上などを通じて課題解決の成果につなげます。また、チーム一丸となって課題解決支援の迅速化と推進を図り、多様な経営相談を推進するほか、大阪・関西万博の開催に向け、「未来を創る、大阪から世界へ」の想いのもと、

その取り組みを通じて地域資本の一層の蓄積を図ります。

何より本年度は基幹システムの最適化に金庫をあげて取り組みます。グループウェアの刷新、ペーパーレス化などを通じた業務効率化・生産性向上施策を推進します。その結果として、トップライン収益を向上させ、コスト削減に向けた取り組みを戦略的に進めるとともに、一定のリスクテイクに耐える自己資本の蓄積を図ることで健全性をさらに向上させます。

令和9年、大きな節目となる金庫創立100周年に、総合的に取り組むことで、将来の成長エンジンとなる課題解決型金融の取り組みをさらに深化させます。

リスク管理面では、市場環境の大きな変動に対するリスク対応力を高め、ガバナンス態勢については一層の深化を図ります。お客さま、職員、地域を守るために、金融犯罪防止やマネー・ローンダリング、サイバーセキュリティなど、諸リスクへの対応力を一層高めます。

これらの取り組みにより、中期経営計画に掲げた「地域密着による課題解決No.1の信用金庫」、「3つの資本(ストック)の蓄積」を実現し、次期中期経営計画へとつなげます。

以上を踏まえ、令和7年度の「経営の基本方針」を以下のとおりとします。

経営の基本方針・重点施策

未来を創る、大阪から世界へ

本年度は、中期経営計画の最終年度として初年度の「構築」、中間年度の「実践」を経て各年度の成果を「創出」する年度とし、下記の5点に注力する。

厳しい経済環境のなか、創立100周年を見据え、全役職員が互いに敬意を持ち、総合力を発揮して「地域密着による課題解決No.1」の信用金庫の実現を図る。

1 人的資本の最大化と最適活用に向けた取り組みの推進

- 1 人財成長サイクルのさらなる好循環に向けた取り組みの推進
- 2 柔軟でチャレンジ精神にあふれた発想をもつ人財とチームの育成
- 3 環境変化に即した人事制度改革による働きがい・働きやすさの向上

2 生産性と課題解決力向上を通じたビジネスモデルの構築と安定収益基盤の確立

- 1 コミュニケーション力と課題解決力の向上によるトップライン収益の拡大
- 2 新ネットワークシステムの構築とAI活用および業務のマルチタスク化を通じた新たなサービスの提供と生産性向上の実現
- 3 機動的な市場運用の実践による資金運用力の高度化

3 企業価値向上に資する課題解決支援の推進

- 1 サポートオフィスの充実とAI等DXによる情報活用と課題解決支援態勢の強化
- 2 課題解決支援メニューのビジネス化促進による適正収益の確保
- 3 スピードとクオリティを両立させた課題解決提案の実践と継続的伴走支援の充実

4 大阪・関西万博を起点とした地域活性化活動の促進

- 1 大阪・関西万博による中小企業の技術発信など地域とともに「未来を創る」持続的取り組みの推進
- 2 気候変動や脱炭素などSDGsの継続的な取引先支援と地域貢献活動の推進
- 3 地域の情報拠点として、店舗を有効活用した「Face to Face」の関係強化

5 信頼を高めるコンプライアンスの実践とリスクマネジメントの深化

- 1 環境変化に対応した統合的リスク管理の実践およびBCPの実効性確保
- 2 マネロンや金融犯罪防止、サイバーセキュリティ対策の高度化による信頼性向上
- 3 経営理念体现による内部管理態勢とコンプライアンス遵守態勢の強化